

## 横河電機がシスコのデータセンターソリューションを使用して単一のグローバルなビジネスモデルへ



概要
<b>顧客</b> • Yokogawa Europe B.V
<b>場所</b> • オランダ、アメルスフォールト
<b>業種</b> • 製造業
<b>企業規模</b> • 従業員数 19,000 名（全世界）
<b>ビジネス上の課題</b> • 単一のグローバル ビジネスへの組織のリエンジニアリング • 地域間およびグローバルなコラボレーションの促進
<b>ネットワーク ソリューション</b> • データセンター ネットワーク アーキテクチャ • Cisco®Wide Area Application Services (WAAS) ソリューション
<b>ビジネス上の利点</b> • グローバルなコラボレーション作業と知識共有の大幅な強化 • 1 年以内での投資回収の実現 • 年間 100,000 ユーロを超える節約の実現 • 従業員の出張削減による数千ユーロの経費と時間の節約 • データの重複を 40 パーセント削減 • 34 か所に散在していた IT リソースを 5 つのデータセンターに集約

テストおよびオートメーション機器の多国籍メーカーである横河電機は、グローバルなコラボレーションを促進するために、Cisco WAAS テクノロジーを使用しています。ヨーロッパでは、シスコによって 34 のブランチオフィスの IT リソースを 5 つのデータセンターに集約でき、1 年以下で投資を回収しました。

### ビジネス上の課題

1915 年に設立された横河電機株式会社は、主に石油化学業界および製薬業界で使用されるプロセスオートメーション、ファクトリオートメーション、テストと計測、医療研究、航空宇宙における機器などを製造しています。ヨーロッパの横河電機である Yokogawa Europe B.V は、1982 年に設立され、現在、1,600 人の従業員を抱えています。オランダとドイツに製造プラントがあり、ヨーロッパのほとんどの国と南アフリカに営業所または代理店を展開しています。

横河電機の企業ビジネス戦略は、単一のグローバルカンパニーになること、そして工業用オートメーション/テスト/計測機器において市場のリーダーになることです。このビジネス目標の実現には、横河電機の地域ビジネスのエンジニア、営業、およびサービス部門間

における連携とコラボレーションが必須です。しかし、これを達成するためには、情報を共有でき、世界中から組織内のデータに確実にアクセスできる IT インフラストラクチャを構築する必要がありました。

Yokogawa Europe の ICT マネージャであり、横河電機のグローバル IT 戦略委員会のメンバーでもある Rob Tammeling 氏は、こう言っています。「社のグローバルエンジニアリンググループは、あらゆる種類のアプリケーションとデータを共有するために、帯域幅をより

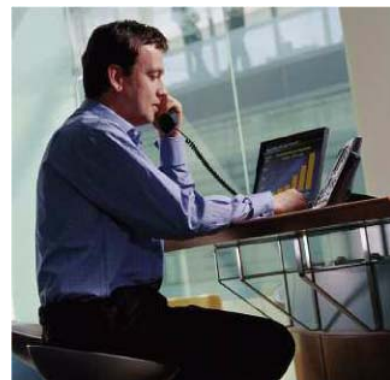
多く求めるようになりました。当社では、100MBのファイルを世界中で共有することも珍しくありません。しかし、ネットワーク帯域幅をアップグレードし続けていくことは、非常にコストがかさむうえ、すべての問題の解決にはなりません。ファイルを開く時間、ロックする時間、遅延は、すべて問題のまま残されたのです。やがて、さまざまなグループがデータをコピーし、いくつものデータ サーバにわたって複製するようになりました。これによって複数のコピーが存在することになり、それぞれに個別に変更が加えられ、どれが最新バージョンか誰にもわからなくなりました。」

課題は、アジア太平洋、中東、ヨーロッパ、アフリカ、北米、中米など、世界中に散在する横河電機全体で、はるかに効率的で処理速度の速いコラボレーションおよび情報共有を可能にする手段を見つけ出すことでした。

### ネットワーク ソリューション

横河電機は、シスコのデータ センター アーキテクチャをベースにしたシスコ アプリケーション ネットワーク サービスを導入することにしました。同社は、すでにシスコの基盤ネットワーク テクノロジーをベースにしたグローバル WAN を導入しており、各地域および各ブランチ オフィスにはローカル エリア ネットワーク (LAN) が展開され、そのほとんどでもシスコのネットワーク機器が使用されていました。

横河電機は、シスコの WAN と LAN の上に Cisco Wide Area Application Services (WAAS) ソリューションを展開しました。これは、横河電機がその WAN 全体にわたってパフォーマンスを最適化するのに役立っています。Cisco WAAS は、ネットワークに統合された透過的なアプリケーション アクセラレーションと、WAN の最適化というソリューションを提供します。Cisco WAAS は既存のネットワーク構成およびネットワーク機能との一貫性を維持できるため、IT 組織は付加価値ネットワーク サービスへの投資を無駄にすることなく、アプリケーション アクセラレーションと WAN の最適化を安全に展開することができます。



横河電機では、WAN 全体にわたるアプリケーション、ストレージ、およびコンテンツへのハイパフォーマンスなアクセスの向上に Cisco WAAS が役立っています。高速アクセスを利用すると、ストレージ、サーバ、印刷、バックアップなどのインフラストラクチャを統合して、低コストの管理しやすいネットワーク アプリケーションだけをブランチ オフィスに残すことができるため、ブランチ オフィスの管理コスト削減に役立ちます。

横河電機は、まずヨーロッパとアフリカに Cisco WAAS を導入しました。これらの地域は、他の地域と異なり、34 か所ほどの別々のロケーションがそれぞれ独自の自律した IT リソースを持ち、多様なインフラストラクチャを抱えていたからです。ヨーロッパとアフリカでの導入が成功したため、同社は現在、アジア太平洋地域、中東、およびアメリカで、ビジネスのその他の部分全体に対して Cisco WAAS を実装することを計画中です。

横河電機は、最初、シスコの競合製品を使用することに決定し、試験運用も行いましたが、Cisco WAAS の方が同社のグローバル WAN にはるかにうまく適合することがわかりました。Tammeling 氏は言います。「WAN とのシンプルな統合のほかにも、Cisco WAAS では1 か所から集中した保守が可能であり、非常に管理しやすいものでした。また、横河電機のグローバル IT 委員会がシスコのソリューションを選択する決め手になったのは、シスコのグローバルなカバー範囲、サポート、およびその優れた開発能力であったと感じています。」

## ビジネス上の効果

横河電機は、シスコ アプリケーション ネットワーク サービス ソリューションを展開することにより、グローバル コラボレーションを向上させ、事業運営を合理化し、経費を削減することができました。同社は、複数のバージョンのドキュメントが電子メールで世界中を飛び交うことによって生じるデータの重複を 40 パーセント以上削減できたと見積もっています。



横河電機は、増加したトラフィックをデータ センターに収めるために大幅にネットワーク帯域幅を増強する必要があると予想していましたが、そうはならず、ヨーロッパだけでも年間 100,000 ユーロを超える節約ができました。たとえば、ルーマニアには 1 Mbit の接続があり、8 Mbit が必要であると見積もられていました。これには年間約 15,000 ユーロのコストがかかります。しかし、Cisco WAAS を導入したことにより、帯域幅増強の必要はなくなりました。横河電機は、将来のための同様の帯域幅増強をヨーロッパ内の 10 か所で計画していました。

それでも、同社は現在、さらなる節約を期待しています。

Tammeling 氏は言います。「帯域幅を増やさなかったことによって実施できた節約は、単なる始まりに過ぎません。スタッフの出張の量が、特に極東とヨーロッパの間での出張が減ることから、さらに節約が見込まれます。Cisco WAAS でコラボレーションが促進されたことによる出張の減少で、月に数千ユーロのコストが節約されているものと考えています。また、スタッフが長距離移動にかかる時間を節約できることから、さらなるメリットも生まれています。オランダから極東のオフィスに 1 回出張すると、最低でも 3 日間が移動のためだけに費やされますから。」

同社が予想するデータ接続の帯域幅減少だけでも、ヨーロッパでは 1 年間で投資を回収できる見込みです。ただし、データ サーバの台数削減、データの重複減少、遅延の減少といったメリットの一部は、まだ ROI の計算に含まれていないため、横河電機では ROI がさらに大きくなるものと期待しています。

横河電機は、Cisco WAAS ソリューションの実装によってヨーロッパの ICT インフラストラクチャを一元化できましたが、各ブランチ オフィスがローカルにデータとアプリケーションを抱えているのと同様のサポートを、引き続きブランチ オフィスに対して行っています。シスコのソリューションによって横河電機は、ヨーロッパ 34 か所に散在していた IT リソースをドイツの 2 か所とオランダ、フランス、イタリアの合計 5 か所のデータ センターに集約して、16 テラバイトのデータを管理できるようになりました。横河電機は、南アフリカにもう 1 つのデータ センターを設立することも模索しています。

シスコのテクノロジーにより、世界中に散在するスタッフが同じドキュメントに対して作業し、同じドキュメントを表示することが可能になります。全員が即座にデータにアクセスでき、プロジェクト チームに加わっている他のスタッフと同じバージョンのドキュメントに対して作業できます。さらに、複数のスタッフが同じプロジェクト ドキュメントに対して同時に作業することができ、作業を終えた他のスタッフからドキュメントを受け取るまで待つ必要がないので、時間の節約にもなります。

「ヨーロッパでのシスコのソリューションによるビジネス上のメリットの 1 つに、IT 部門を設けるオフィスを減らせるということが挙げられますが、世界的に見ると、それは異なる地域間が連携するということです。インド、シンガポール、東京、ヨーロッパではエンジニア

## 製品一覧

## アプリケーション ネットワーキング

- Cisco Wide Area Application Services (WAAS) ソフトウェア
- Cisco Wide Area Application Engine (WAE) アプライアンス

リング作業が進行中です。今では地球の裏側のエンジニアとのコミュニケーションも以前よりはるかに簡単になったので、ちょっとした質問や問題を解決するといった、生産性におけるメリットを現実的に実感し始めたところです。世界中のエンジニアが、ここオランダのエンジニア

が作業しているのとまったく同じ情報や技術図面にアクセスすることができ、1時間以内に問題を解決することができます。スタッフが出張したり、電話で技術的な問題点を説明したりするのに比べて、はるかに迅速に対処でき、大幅に効率が向上しました。」

横河電機のビジネス戦略の1つに、製品を顧客が必要とするときに顧客に届けることで、大量の在庫を抱える必要性とコストを削減するというJIT（ジャスト イン タイム）製造があります。「これが可能なのは、すべてシスコの力です」と、Tammeling氏は言います。「たとえば、オランダの顧客から発注があったときに、それを東京で処理したり、東京に送ったりします。現在は情報が



一元化されたため、ジョブに関する情報の受け渡しは、それが巨大な技術ファイルを必要とする場合であっても、遅延がなくなったのです。あらゆる場所、あらゆる部門から、誰もが即座に情報にアクセスできるようになりました。しかも、その情報は常に最新の状態です。つまり、以前よりもはるかに短時間で注文を処理し、完了できるようになったのです。」

Tammeling氏は、次のように付け加えています。「当社は世界的な企業なので、他の地域と連携して作業を行うプロジェクトも数多く存在します。そのようなプロジェクトの成功の鍵となるのは、高速性と安定性を備えた優れたネットワーク インフラストラクチャです。私たちは、優れたネットワーク インフラストラクチャに全面的に頼る必要があります。それがなければ、こういったグローバル プロジェクトを進めることはもはや不可能です。シスコはその安定した環境を与えてくれる会社であり、その製品は安定しており、信頼性が高く、優れています。まさに、我々が必要としている製品です。」

「当社は世界的な企業なので、他の地域と連携して作業を行うプロジェクトも数多く存在します。そのようなプロジェクトの成功の鍵となるのは、高速性と安定性を備えた優れたネットワーク インフラストラクチャです。私たちは、優れたネットワーク インフラストラクチャに全面的に頼る必要があります。それがなければ、こういったグローバル プロジェクトを進めることはもはや不可能です。シスコはその安定した環境を与えてくれる会社であり、その製品は安定しており、信頼性が高く、優れています。まさに、我々が必要としている製品です。」

Yokogawa Europe B.V、ICT マネージャ、Rob Tammeling 氏

## 関連情報

Cisco WAAS の詳細については、<http://www.cisco.com/jp/go/waas/> を参照してください。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0805R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社  
〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー  
<http://www.cisco.com/jp>  
お問い合わせ先 (シスコ コンタクト センター)  
<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

お問い合わせ先